テンタ君だより NO.6

長田商業高等学校
10月　1日　発行

朝晩がずいぶん涼しくなり、虫や鳥の鳴き声に秋の気配をしっかりと感じます。ついこの前までの厳しい残暑はやっと終わったようです。体調管理には気をつけて、深まっていく秋をみんなで楽しめればいいですね。

発表に拍手を！

９月１１日（金）、湊川高校の講堂で第７０回兵庫県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会の神戸地区大会がおこなわれました。

神戸市内には、７校の定時制と通信制の高校があり、各校代表の生徒が、日ごろ抱えている問題などと必死に向き合いながら、学校生活を送っている様子を発表していました。

本校からは、７月の校内大会で上位に入賞した２人が参加しました。２人はこの日ために、先生方のアドバイスをもらって練習を繰り返していました。

２人は堂々とした発表で、観衆の共感を得るすばらしいものでしたが、惜しくも上位入賞は逃してしまいました。

生徒代表の一人ひとりの発表後には、万雷の拍手の音が会場に響きました。勇気ある前向きなメッセージを伝えてくれた発表者全員に本校からも大きな拍手を送りたいです。

立派なスピーチでした

みんなで記念撮影です

長商人権デー

９月２３日（水）、人権に関する行事やホームルームが終日おこなわれました。

２～４年生については、１時間目に講演会がありました。本校のＯＢで学校評議員の千歳歓先生に来ていただき、「定時制高校での学びを誇りに」というテーマでお話してもらいました。

千歳先生からは、定時制高校に入学するまでのことから、本校に入学して今まで感じていた息苦しさがなくなったという具体的な内容まで話してくださいました。

「定時制高校の良さは、そこの生徒にしかわからない。だからがんばって卒業して、周りにその良さを伝えてほしい」とおっしゃっていました。

２時間目は、人権に関する研究授業がおこなわれました。２年生は、高齢者について考えるというテーマにそって授業が進められました。３・４年生は、権利の順位づけをメインにした人権学習の授業でした。

どのクラスもグループワークを交えての内容で、自分の考えをメンバーに話し、相手の意見を聞き、グループ全体の意見をまとめていました。

３時間目は、人権に関するＤＶＤを鑑賞しました。生徒たちにとって、身近にもたくさんある、人権問題を考えるきっかけになったのではないかと思います。

聞く姿勢は抜群でした

活気に満ちた教室です

ブラインドサッカーに挑戦

同じく２３日、本科１年生は、体育館で障がい者スポーツ体験として、ブラインドサッカーをしました。

アイマスクを付けた瞬間に視界が奪われる体験は、心細い気持ちになって、スリリングだったと思います。

ウォーミングアップのゲームでは、生徒の歓声が体育館にこだましていました。

サッカーの体験では、周りから聞こえる声やボールの中に入っている鈴の音をたよりにして、ボールをけるなどのプレーを体験していました。

ドリブルでスラローム

目標に向かってキック

速報　剣道部（女子）

11 月1日（日）近畿大会（奈良県で開催）に出場決定！

おめでとう。健闘を祈ります。